

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	29件	33,000円	85件	130,951円
財団	0件	0円	4件	51,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	0件	0円	1件	10,000円

本日のプログラム

<委員会報告>

青少年奉仕委員会

井上勇委員長



1923年セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕活動が討議されました。青少年奉仕委員会は当初社会奉仕委員会の小委員会として発足しました。次世代の青少年育成の重要性から第5奉仕部門と呼ばれることもあります。青少年交換、奨学生、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導養成プログラム、職業相談指導、ロータリー地域共同体、ロータリー地域社会共同体、身体障がい者の援助、各種野外活動などを通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的としています。これが青少年奉仕です。当クラブでは、まずインターアクトクラブですが例年通り桐光学園が提唱校ということで活動して頂いています。あしなが募金、美化運動の時はロータリアンと一緒に活動して頂いています。その他に研修がありますので当クラブで支援していきます。次にローターアクトクラブですが、5年前くらいからは是非作りたいという話が出ていますがまだ設立されておりません。ライラは野外活動で1泊し討議や意見交換などコミュニケーションを語り知識を深めています。当クラブは今まで参加しておりませんが今年は参加できたらと思っています。ロータリー青少年交換ですが、今年度は当クラブがホストクラブとなっており受け入れる学生のホストファミリーも無事決まりました。

国際奉仕委員会

渡邊委員長



国際奉仕委員会とはロータリー5大奉仕部門の一つで有ります。ロータリアンが国際理解・親善・平和を推進するために行っていることが国際奉仕です。対外的な事業で「カドボ」神奈川海外ボランティア歯科医療団への協力等は今年度は計画しておりませんが、例年行っている国際奉仕の活動原資となる米山奨学金とロータリー財団への寄付金のご協力を宜しくお願い致します。

①ロータリー財団関係の寄付目標

年次寄付金:120USドル以上/人

恒久基金寄付:1名以上(ベネファクター)

ポリオへの寄付:50USドル以上/人

②ロータリー米山奨学会への寄付目標

年間普通寄付:5,000円/人

年間特別寄付:20,000円/人

米山奨学金とは日本のロータリークラブ特有のもので、1953年(昭和28年)に東京ロータリークラブが戦後のアジア諸民族の融和に役立てる目的で主として東南アジア諸国からの留学生に奨学金を支給するための基金として東京ロータリークラブ創立者の米山梅吉氏の功績を記念する意味で米山基金と名付けたのが始まりです。

今年度は米山奨学生として中国の張楽さんを昭和音楽大学生として受け入れます。青少年奉仕委員会の関係ですが、8月にはエクアドルより青少年交換学生も来ます。また当クラブは5月の創立40周年で長年にわたり友好クラブとして、お付き合いして来ました台湾永和ロータリークラブと姉妹クラブの締結をしました。

社会奉仕委員長

鴨志田委員長



今年度社会奉仕委員長を務めさせていただきます。副委員長は木庭委員です。ニコニコは小島委員、尾崎委員、白井委員、山崎委員で環境・保全是安藤美恵子委員、地域発展は笠委員です。

今年度は会長指針で述べている様に、当クラブの永続性を保つため、会の基本である「親睦」そして、継続的に行われてきた「各種奉仕活動」を地道に大切に行っていきたくと考えています。

社会奉仕部門は3つの委員会で構成されております。

ニコニコは日々の生活の中で楽しい事があった時に一言コメントを添え、無理のない範囲での寄付をしていただきます。

環境保全是桐光学園IACと共に新百合ヶ丘周辺の清掃活動を実施いたします。また、青色パトカーを利用して麻生区内の防犯活動を行います。

地域発展では桐光学園IACと一緒にあしなが募金活動を実施します。また、昭和音楽大学の学園祭でバザーを行い売上金を障がい者施設などに寄付をいたします。

当クラブの過去の社会奉仕について少し紹介したいと思います。1979年柿生学園に野外用ベンチと平均台の寄贈、1981年授産学園にごみの焼却炉の寄贈、1991年新百合ヶ丘駅南口バスターミナルに時計台の寄贈、1988年麻生消防署に野外用放送設備の寄贈、ボーイスカウトヘテントの寄贈、2005年に麻生防犯協会へパトロール車を寄贈などです。

<点鐘>

井上久会長